

須賀川市立義務教育学校「**稲田学園**」学園だより

とう oun  
**稲雲**

第 4 号

令和4年 5月31日発行

発行者：校長 小貴 崇明



## ○**岩瀬支部陸上競技大会で稲田っ子大活躍！！**

5月18日（水）に、鏡石町鳥見山陸上競技場において岩瀬支部中体連陸上競技大会が開催されました。稲田学園からは、30名の選手が参加し、各競技においてたくさんの自己ベストを更新する活躍を見せてくれました。入賞した結果は以下の通りです。

【男子】	2年100m	2位
	3年100m	7位、8位
	共通110mH	4位
	共通走高跳	4位
	共通砲丸投	5位
	共通4×100mR	3位

【女子】	1年100m	7位
	共通走幅跳	1位、2位



特に、女子共通走幅跳では、見事稲田学園選手によるワン・ツーフイニッシュ！。県大会への出場権を見事獲得しました。その他の選手も自己ベストを多数更新したので、帰校した際の報告時には、みんな充実感にあふれた表情でした。選手の皆さんお疲れ様でした！

また、観戦できずご自宅や職場から心の中で応援してくださいましたご家族の皆様、大会までの励ましも含め本当にありがとうございました。

## ○**新聞に親しむ出前授業で伝えることの大切さを知る**

5月20日（金）に、福島民報社から講師の先生をお招きして、「新聞に親しむ出前授業」を5年生で実施しました。

授業を受けた児童たちは、取材から配達までの新聞の製作工程を学んだあと、実際に新聞を読み、気になる記事を切り抜き、感想を書く活動を行いました。今日の活動をきっかけに社会に目を向け、考える力や伝える力を身に付けてほしいと願っています。



# ○1、2年生が校外の探検へ出かけてきました ～自分の住む地域と出会う「いなだスタディ」として～

自分が暮らす地域を知るため、地域に出かけて様々な体験をする学習活動などを、稲田学園では『いなだスタディ』と言っています。その活動の一つとして、特に低学年の子どもたちには、校外に出かけ広々とした公園や市街地の地域探検学習を毎年実施しています。



5月25日（水）には、1年生が須賀川市のバスに乗って翠ヶ丘公園に行ってきました。翠ヶ丘公園では、公園内を散策したり、設置してある遊具で思い切り遊んだりしてきました。学校にはない遊具などで友だちと仲良く過ごしている1年生。お天気も良くいつも以上に笑顔が輝いて見えました。さて、今度はどこに出かけるのかな？



2年生は、5月23日（月）に、市街地の商店街を探検してきました。2年生になると、お店に入るだけでなく、お店の人に質問をして記録をとるなど、取材をする記者のように活発に活動をしていました。写真からもわかるように、しっかりメモ取りながらいろいろとお店の人からお話を聞いていました。グループの仲間と楽しい取材ができたようです。ご協力いただきました事業所の皆様、そしてあたたかく子どもたちを見守っていただきましたお母さん方、本当にありがとうございました。



## ★言葉と生きる(4) 「五月雨を 集めて早し 最上川」

須賀川市にも縁のある松尾芭蕉の句であることはご存じの方も多いのではないのでしょうか。元禄2年（1689年）の5月に山形県で詠まれた俳句だそうです。調べてみると「五月雨（さみだれ）」とは、5月に降る雨というだけの意味よりも「梅雨時の雨」というニュアンスだそうで、増水期の川の水の量感と速度感を表現した句として300年以上も前の作品が現代まで語り継がれる、まさに名句中の名句ということができそうです。

なぜこの句を紹介したかということ、先日稲田学園の校庭が大きな池に見えるように降った大雨を見てこの句を思い出しました。天気予報でよく話題になる線状降水帯が発生し、「釈迦堂川や阿武隈川に大量の雨水が流れ込み、大きな水害が発生しないだろうか」とか、「増水した川や水路に近づいて子どもたちが溺れたりしないだろうか」と心配になりました。今年の梅雨は早めに来そうです。水の死亡事故ゼロをめざし指導を徹底しようと思っています